学校番号	J3026

令和８年度　道徳

学年	2	週授業コマ数	1	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	「新訂　新しい道徳２」　（東京書籍出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

水都国際中学校では、日本人教員のみならず、ネイティブ教員も含む全教員が道徳科の授業を担当し、生きる上で必要な様々な価値を、多様な文化的背景を持つ教員の言葉と思いを通して伝えていきます。みなさんもそれらに対し真剣に考え、自分自身の言葉で思いや考えを周囲の人に伝えて下さい。そして、この授業を通して、クラスメイトと共に、自他の生き方について考えるきっかけとしていきましょう。

2　学習の到達目標

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、
道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	【真の価値を追い求めて】 1「できない」には価値がある―吉藤オリィ A(5)真理の探究、創造 【お互いの良さを生かして】 2 遠足で学んだこと B(9)相互理解、寛容 【優れた伝統を継承、発展させるためには】 3 和食のこころ C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	左記の価値について、その価値の意味や重要性、実現をするための方法、意見の分かれる所について議論し、それぞれの学びの振り返りを行う。 なお、扱う価値				

	【いじめの責任とは】 4 私のせいじゃない C(11)公正、公平、社会正義	については順不同。				
	【いじめた人が負うこととは】 5 あの子のランドセル A(1)自主、自律、自由と責任					
	【いじめをなくすために】 6 「いじめ」について、あなたはどう思う？ A(1)自主、自律、自由と責任					
	【家族とともに支え合うために】 7 一冊のノート C(14)家族愛、家庭生活の充実					
	【国の垣根を越えて】 8 六千人の命のビザ C(18)国際理解、国際貢献					
	【思いに気づくこととは】 9 魔法使いの少年―いつかの自分 B(6)思いやり、感謝					
	【正しい判断とは】 10 「いいね」のために？ C(10)遵法精神、公徳心					
	【諦めない気持ちで】 11 左手でつかんだ音楽 A(4)希望と勇気、克己と強い意志					
	【郷土を愛する気持ちとは】 12 祭りの夜 C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度					
	【生活習慣を整えて】 13 日々を支える、散歩と朝ご飯―阿部 詩 A(2)節度、節制					
	同和問題（部落差別について） B(9)相互理解					
	いじめについて考える B(9)相互理解					
	障がい者理解 B(9)相互理解					
2 学 期	【命を輝かせて】 14 奇跡の一週間 D(19)生命の尊さ					
	【かけがえのないいのちと向き合うために】 15 妹に					
	【「命を守る」―それぞれの立場で】 16 水辻村の決断 D(19)生命の尊さ					
	【個性を生かす、集団としての成長とは】 17 みんなでとんだ！ C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実					
	【思いやりを感じ取るには】 18 夜のくだもの屋 B(6)思いやり、感謝					
	【自分自身に誇れる生き方とは】 19 本当の私 D(22)よりよく生きる喜び					
	【仕事のおもしろさとは】 20 宇宙人 C(13)勤労					
	【おおらかな気持ちで】 21 注文をまちがえる料理店 B(9)相互理解、寛容					
	【自然環境に優しくあるために】 22 冬の使者「マガン」 D(20)自然愛護					

	【良好な関係を目指して】 23 あいさつ B(7)礼儀					
	【よりよい社会を目指して】 24 住みよい社会に C(12)社会参画、公共の精神					
	【平等な社会を目指して】 25 女子教育の夜明け―津田梅子 C(11)公正、公平、社会正義					
	【SNS による心の擦れ違いを乗り越えるために】 26 ゴール B(8)友情、信頼					
	【伝統や文化の継承と発展のために】 27 書道パフォーマンスの挑戦 C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度					
3 学 期	【働くことの喜びとは】 28 やっちゃんのなやみ C(13)勤労					
	【周りの人のことを考えて】 29 宝塚方面行き―西宮北口駅 C(10)遵法精神、公徳心					
	【命を救った日々の備えとは】 30 田老の生徒が伝えたもの A(2)節度、節制					
	【ともに目指す社会の在り方とは】 31 人生でだいじなことは、みんなゴリラから教わった C(12)社会参画、公共の精神					
	【自分らしさとは】 32 私は十四歳 A(3)向上心、個性の伸長					
	【人間の力を超えたものに向き合うために】 33 夜は人間以外のものの時間 D(21)感動、畏敬の念					
	【相手の思いを考えるために】 34 気づき―ドッジボールとぼくらの温度差 B(8)友情、信頼					
	【後悔せずに生きるために】 35 良心とのたたかい―「レ・ミゼラブル」より D(22)よりよく生きる喜び					
	【友情の在り方とは】 付録1 泣いた赤鬼 B(8)友情、信頼					
	【「もったいない」を心に】 付録2 飢餓をゼロに A(2)節度、節制					
	【世界の平和を願って】 付録3 AI とカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争 D(22)よりよく生きる喜び					
	【国際社会で生きるために】 付録4 海と空―樫野の人々 C(18)国際理解、国際貢献					

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度